

科目名	キャリアデザイン4(企業コース)			ナンバリング	CAR161	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	金世煥	担当教員	山口憲二、田中美和				

授業の概要	本科目では、就職活動に必要なスキル(履歴書・エントリーシート・各種面接等)とスタンス(挨拶・マナー・考え方・態度)を身に付けることを目的とする。進路やキャリアに対する意識を醸成し、自分が「納得できる」社会人となるための準備を行う。						
到達目標	1. 卒業後の自分の進路を明確に説明することができる。 2. 就職活動に臨むスキルが身についている。 3. 自らの望む進路に進むための準備ができている。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	新聞などに目を通し、一般常識や時事問題について把握しておく。 身近な社会人から働き方や仕事内容、やりがいについて話を聴く。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
・自分の卒業後の進路を説明できる。 ・自分の強みと弱みを説明できる。 ・志望動機は説明できるが、やや説得力に欠ける。 ・履歴書の形式は整っているが、やや表面的な記述にとどまっている。	・自分の卒業後の進路をその理由と共に説明することができる。 ・自分の強みと弱みをその根拠となる事実(エピソード)とともに説明することができる。 ・志望動機は詳細な企業研究に基づいており、相手を納得させるレベルである。 ・履歴書は形式が整っており、適切で具体的な事実によって論理的な説明がなされている。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		50%
宿題・授業外レポート	○	○	○		○		40%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○	○		10%

課題、評価のフィードバック	課題のフィードバックについては、直接、またはmanab@IMU等を活用して行う。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス	キャリアデザイン4の授業と就職活動の進め方について理解する。	
	第2回	ビジネスマナー	就職活動に必要なマナー（会社訪問、面接）について学ぶ。 ＊ スーツ着用	
	第3回	上級生の就活体験談を聞く	就職活動を終えた4年生から、活動の内容と準備すべきことを学ぶ。	
	第4回	適性検査	就職活動に使われる適性検査を実施する。	
	第5回	業界・企業研究①	業界・企業研究に参加予定の業界・企業について、情報を収集し、理解を深める。	
	第6回	業界・企業研究②	企業の人事担当者から、各業界の特性と仕事内容について学ぶ。 ＊ スーツ着用	
	第7回	業界・企業研究③	企業の人事担当者から、各業界の特性と仕事内容について学ぶ。 ＊ スーツ着用	
	第8回	エントリーシート(ES)の書き方	エントリーシートの書き方のポイントを学ぶ。課題として履歴書の提出を求める。	
	第9回	志望動機の書き方	志望動機のNG例から構造や評価ポイントを学ぶ。	
	第10回	面接対策	面接での応答における留意すべきポイントを学ぶ。	
	第11回	模擬面接①	模擬面接を受け、応答の内容や態度、マナーの不十分な点を検証する。＊ スーツ着用・履歴書持参	
	第12回	模擬面接②	模擬面接を受け、応答の内容や態度、マナーの不十分な点を検証する。 ＊ スーツ着用・履歴書持参	
	第13回	グループディスカッションの進め方	グループディスカッションの手順や進め方について学ぶ。	
	第14回	グループディスカッション・実践	グループディスカッションを実践し、不十分な点を検証する。	
	第15回	就職活動の目標設定	就職活動や採用選考試験に向けて、自分の目標と今後の計画を明確にする。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		本講義は効果的なキャリア支援の実現のため、進路別（企業への就職・公務員・教職）にクラスを分けて行う。		
授業外学習の指示		課題である履歴書は、企業の選考を受けるレベルにて作成すること。 個別の企業研究と自己分析は時間外学習時間に各自で行う。 （授業外学習時間： 毎週 180 分）		

教科書	授業内で適宜指示する。
参考書	授業内で適宜指示する。
参考URLなど	授業内で適宜指示する。
その他	

科目名	キャリアデザイン4(教職コース)			ナンバリング	CAR161	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	金世煥	担当教員	石川哲夫、中島清州、田中美和				

授業の概要	本科目では、就職活動に必要なスキル(履歴書・エントリーシート・各種面接等)とスタンス(挨拶・マナー・考え方・態度)を身に付けることを目的とする。進路やキャリアに対する意識を醸成し、自分が「納得できる」社会人となるための準備を行う。						
到達目標	1. 卒業後の自分の進路を明確に説明することができる。 2. 就職活動に臨むスキルが身についている。 3. 自らの望む進路に進むための準備ができている。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	新聞などに目を通し、一般常識や時事問題について把握しておく。 身近な社会人から働き方や仕事内容、やりがいについて話を聴く。						
ディプロマポリシーとの関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
・自分の卒業後の進路を説明できる。 ・自分の強みと弱みを説明できる。 ・志望動機は説明できるが、やや説得力に欠ける。 ・履歴書の形式は整っているが、やや表面的な記述にとどまっている。	・自分の卒業後の進路をその理由と共に説明することができる。 ・自分の強みと弱みをその根拠となる事実(エピソード)とともに説明することができる。 ・志望動機は詳細な企業研究に基づいており、相手を納得させるレベルである。 ・履歴書は形式が整っており、適切で具体的な事実によって論理的な説明がなされている。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		50%
宿題・授業外レポート	○	○	○		○		40%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○	○		10%

課題、評価のフィードバック	課題のフィードバックについては、直接、またはmanab@IMU等を活用して行う。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス	選択コース(教職)オリエンテーション	
	第2回	教育原理(基礎)、専門科目一国語科(中島)	教育原理一教授・学習理論講義、国語科の目標等概要、単元講義	
	第3回	教育原理(学習指導要領①)、専門算数科(石川)	教育課程の編成理論講義、算数・数学科の目標等概要単元講義	
	第4回	教育原理(学習指導要領②)専門一社会科(中島)	教育原理一道德教育の目標と内容講義、社会科の目標等概要、単元講義	
	第5回	教育原理(学習指導要領③)、専門一外国語活動・総合学習・特別活動(石川)	外国語活動・総合学習・特活領域講義	
	第6回	教育原理(特別支援教育)専門一音楽・図工(中島)	特別支援学校の目的等概要講義、音楽・図工科の目標等概要、単元講義	
	第7回	教職面接スキル(中島、石川)	集団面接、集団討論、個人面接対策	
	第8回	教育原理(教育時事)、専門一理科(石川)	学校安全・学校防災教育概要講義、理科の目標等概要、単元講義	
	第9回	教育時事、専門一体育科(中島)	教育関係時事等概要講義、体育科の目標等概要、単元講義	
	第10回	食育・情報教育、専門一英語・家庭科(石川)	食育・情報教育概要等講義、英語・家庭科の目標・計画・内容等概要講義	
	第11回	模擬面接①	模擬面接を受け、応答の内容や態度、マナーの不十分な点を検証する。 * スーツ着用	
	第12回	模擬面接②	模擬面接を受け、応答の内容や態度、マナーの不十分な点を検証する。 * スーツ着用	
	第13回	教育法規(基本法規)(中島)	教育基本法等法規概要講義、問題練習	
	第14回	グループディスカッション・実践	グループディスカッションを実践し、不十分な点を検証する。	
	第15回	キャリアデザインまとめ(石川・中島)	教育法規等講義、教員採用試験対策についてまとめる	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		本講義は効果的なキャリア支援の実現のため、進路別(企業への就職・公務員・教職)にクラスを分けて行う。		
授業外学習の指示		課題である履歴書は、企業の選考を受けるレベルにて作成すること。 個別の企業研究と自己分析は時間外学習時間に各自で行う。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)		

教科書	授業内で適宜指示する。
参考書	授業内で適宜指示する。
参考URLなど	授業内で適宜指示する。
その他	

科目名	キャリアデザイン4(公務員コース)			ナンバリング	CAR161	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	金世煥	担当教員	菅野昌史、田中美和				

授業の概要	本科目では、就職活動に必要なスキル(履歴書・エントリーシート・各種面接等)とスタンス(挨拶・マナー・考え方・態度)を身に付けることを目的とする。進路やキャリアに対する意識を醸成し、自分が「納得できる」社会人となるための準備を行う。						
到達目標	1. 卒業後の自分の進路を明確に説明することができる。 2. 就職活動に臨むスキルが身についている。 3. 自らの望む進路に進むための準備ができている。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	新聞などに目を通し、一般常識や時事問題について把握しておく。 身近な社会人から働き方や仕事内容、やりがいについて話を聴く。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
・自分の卒業後の進路を説明できる。 ・自分の強みと弱みを説明できる。 ・志望動機は説明できるが、やや説得力に欠ける。 ・履歴書の形式は整っているが、やや表面的な記述にとどまっている。	・自分の卒業後の進路をその理由と共に説明することができる。 ・自分の強みと弱みをその根拠となる事実(エピソード)とともに説明することができる。 ・志望動機は詳細な企業研究に基づいており、相手を納得させるレベルである。 ・履歴書は形式が整っており、適切で具体的な事実によって論理的な説明がなされている。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		50%
宿題・授業外レポート	○	○	○		○		40%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○	○		10%

課題、評価のフィードバック	課題のフィードバックについては、直接、またはmanab@IMU等を活用して行う。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス	授業内容と就職活動の進め方について解説する。志望先別の班を形成する。目標の設定と計画の作成を実施する。勉強方法を学ぶ。 * 3-304→3-301	
	第2回	履歴書・エントリーシート(ES)の書き方①	履歴書とエントリーシートの書き方のポイントを学ぶ。課題として履歴書の提出を求める。	
	第3回	履歴書・エントリーシート(ES)の書き方②	履歴書とエントリーシートの書き方のポイントを学ぶ。課題として履歴書の提出を求める。	
	第4回	ビジネスマナー	就職活動に必要なマナー(会社訪問、面接)について学ぶ。 * スーツ着用	
	第5回	数的処理①(判断推理)	公務員試験のなかで大きな配点を占める数的処理について概要を学ぶ。そのうえで、判断推理の問題を解く。	
	第6回	志望先研究と計画作成	自らの志望先について調べて、情報をまとめる。さらに、試験までの勉強計画を立てる。	
	第7回	数的処理②(数的推理)	数的推理の問題を解く。	
	第8回	適性検査・時事問題	就職活動における適性検査や時事問題について学ぶ。	
	第9回	数的処理③(判断基準＋数的推理)	判断推理と数的推理の問題を解く。	
	第10回	面接対策	面接での応答において、留意すべきポイントを学ぶ。	
	第11回	模擬面接①	模擬面接を受け、応答の内容や態度、マナーの不十分な点を検証する。 * スーツ着用	
	第12回	模擬面接②	模擬面接を受け、応答の内容や態度、マナーの不十分な点を検証する。 * スーツ着用	
	第13回	グループディスカッションの進め方	政策課題の前提知識を仕入れたうえで、グループディスカッションの進め方について学ぶ。	
	第14回	グループディスカッション・実践	グループディスカッションを実践し、不十分な点を検証する。	
	第15回	進捗管理と計画作成	後期の勉強計画の進捗状況を把握したうえで、試験までの勉強計画を修正する。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		本講義は効果的なキャリア支援の実現のため、進路別(企業への就職・公務員・教職)にクラスを分けて行う。		
授業外学習の指示		課題である履歴書は、企業の選考を受けるレベルにて作成すること。 個別の企業研究と自己分析は時間外学習時間に各自で行う。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)		

教科書	西川マキ(2017)『文系女子のための判断推理』インプレス、西川マキ(2017)『文系女子のための数的推理』インプレス
参考書	授業内で適宜指示する。
参考URLなど	授業内で適宜指示する。
その他	